

近年、消費者を取り巻く環境は、複雑かつ多様化し、大きく変化しています。また、最近では、食の安全安心という最も基本的なことに対する消費者の信頼を揺るがす事件、高齢者を狙った悪質商法による消費者被害やインターネットを介した不正請求の問題が相次いで発生しています。

こうした中、本市では、消費生活センターを中心として積極的に消費者教育に取り組み、被害等の未然の防止に努めています。小学校においては、目的に合ったお金の使い方がなぜ大切なのかについて、中学校においては、パソコンやスマートフォンを介したインターネット関連サービスにおけるトラブルの事例と被害の防止などについての講座を開催しました。また、高齢者などの消費者被害を防ぐための啓発活動も行っています。

市民の皆さまが安心して安全な消費生活を実現し、消費者被害の未然防止と被害の早期発見・救済への取り組みを強化するには、消費生活センターの役割が重要です。今後も引き続き、各関係機関と連携を図り、消費者行政の推進に努めてまいります。

市民の皆さまにおかれましては、日頃から消費者情報を注視していただき、架空請求が来たとき、悪質商法の被害にあったとき、サービスについて疑問を感じたときなどは、一人で悩まず、消費生活センターまでご相談をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

平成29年3月1日

下妻市長 稲葉本治